

令和3年11月12日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

総社デニムマスクの今後について

～内容～

総社デニムマスクの今後について調査を行いました。

～質疑～

問：B型事業所は賃金を目的とした事業所ではないが、デニムマスクの製作に携わることでどのような効果があったのか。

答：何かしらの関わりの中で技術を身につけ、A型事業所につなげていくのが理想である。今回のデニムマスク製作が一つの契機となったと考えている。

問：医療分野への挑戦ということだが、どのようなことをするのか。

答：三幸製作所からの発注で、たんの吸引器での、機械ではできない、人力に頼らないといけない部分の組立作業について、障がい者の方からの応援をいただきたいとの依頼があり進めているものである。

新型コロナウイルス感染症への対応について

～内容～

新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を行いました。

～質疑～

問：人口10万人あたりの感染者数は岡山県が1位となっているが、新規感染者はワクチンを接種している人も多くなっているのか。

答：7月1日から9月27日の感染者7,423人のうち、ワクチンを2回接種完了して感染した方が460名で全体の約6%である。

問：市内の感染者の受入体制はどうか。

答：入院調整は県全体で行われているが、市内で受け入れできるのは1病院で、用意している病床数は10床である。中等症まで受け入れ、重症化すると市外の病院へ転院することになる。

待機児童について

～内容～

保育所、放課後児童クラブの待機児童について調査を行いました。

～質疑～

問：待機児童解消には、保育士の確保が重要と考えるがどうか。

答：採用試験実施の際に、各学校を訪問し保育士支援金の額を2万円から7万円に増額したことなどをアピールし、総社市の保育所に興味を持っていただけるよう努めているところである。

問：総社小学校と常盤小学校は週に1日休んでもらう欠席ローテーションを行いながら運営しているとのことだが、どのくらいの児童が欠席ローテーションを行っているのか。

答：総社小学校については、1年生から3年生まで全員に1週間に1日休んでもらっており、1日平均30人程度である。常盤小学校については、1年生には欠席ローテーションは行っておらず、2年生、3年生で週に1日休んでもらっており、1日平均30人程度である。

通学路の総点検について

～内容～

通学路における危険箇所を関係機関と合同点検した結果について調査を行いました。

～質疑～

問：ハンプは、速度抑制効果もあり、幹線道路から中に入った生活道路では非常に有効と考えるがどうか。

答：ハンプがあることによって、心理的效果も期待される場所であり、今後検討していきたい。

問：未実施箇所の施工に関して、中長期的な見通しはどうか。

答：今回の事故を受けて、危険箇所の再点検を行っており、今までの未実施箇所を含めて実施していこうと考えている。遅くとも11月定例会には補正予算を上程したい。

問：学校等での安全教育を充実させるとのことだが、具体的にどのようなことに取り組むのか。

答：各学校において年間の安全計画をたてて安全教育を実施しているが、今回の事故を受けて、再度学校での年間計画を見直して、それに沿った実施ができるよう指導を徹底したい。

総社市放課後児童クラブについて

～内容～

放課後児童クラブについて調査を行いました。

～質疑～

問：重大な事故が発生したときの責任の所在はどうか。

答：事故の状況による。指定管理者の責任という部分もあるが、施設管理に関わることであれば施設の設置者、教育委員会の責任ということも考えられる。

問：総社小学校の放課後児童クラブは小学校とは別の場所にあり、通うには国道を渡る必要がある。今回の事故を受け、移転等考えないのか。

答：総社小学校の放課後児童クラブは全員が欠席ローテーションをしなければいけないような状況であり、増築又は建て替えが必要と考えていた。今回の事故を受け、移転を含めて早急に検討したい。

教育特区について

～内容～

教育特区について調査を行いました。

～質疑～

問：英語の授業時間が他の学校より多いとのことだが、他の教科の授業時間に影響はないか。

答：他の教科の授業時数は確保している。低学年であれば、教科にあてない余剰時間があるのでそういったものをあてている。

池田小学校と新本小学校の3、4年生については、文部科学省に教育課程特例校申請をして、許可を得て、総合的な学習の時間の一部を英語にあてている。

昭和小学校、維新小学校については、併設型の小中一貫校ということで、学校独自の時間を組むことができているが、他の教科の授業時数が少なくなっていない。

問：英語・体育特区及び英語・音楽特区の具体的な成果はどうか。

答：英語のようにテストではかれるようなものではない。プロの音楽家やアスリートを養成しようということではなく、英語に加えてプラスアルファの経験や体験ができる学校としての魅力を発信していこうと考えている。

問：この特区の当初の目的は、定住だったと思うが、今も変わっていないか。

答：当初の目的は現在も引き継いでいる。現在の課題は過疎だけでなく過密もある。市内での学区を超えた転校、特区の学校への入学を推進していきたい。移住ももちろん推進していくが、市内の平準化を図っていきたい。

報告事項

総社市雪舟生誕地公園管理業務等の所管換について

～内容～

令和 4 年度から雪舟生誕地公園の管理業務が政策調整課から文化芸術課へ所管換えとなることについて報告を受けました。